



会員だより



山原路の初物づくり!

【常務取締役
金城 秀一】

北部山原国道58号では、異常気象時における地域住民の孤立解消と安全安心な道路機能の確保(通行規制区間解除)を目指して謝敷拡幅事業が進められている。

弊社も平成21年度より宇嘉地区、佐手地区での工事を担い、宇嘉地区において県内初となるフレア護岸の設置を行った。フレア護岸は、波を壁面湾曲部で沖側に反転させ越波を抑制するもので、護岸高が低く、海岸への影響を小さくすることが出来ること、又景観面でも有利とされている。本土でのこれまでの施工事例は一体型であったが、本地では様々な施工条件から、メーカー側も初となる、底板・湾曲壁部の上下分離方式で行うこととなり、どちらも初物づくりとなった。制作から設置・据付けまでには難題も多く、三者何度も協議を重ねた末、無事竣工できたことは感謝の一言に尽き、宇嘉地区で培ったノウハウは、佐手地区でいかに発揮されている。工事期間中片側交互通行となり周辺住民や道路利用者には大変不自由とご迷惑をかけており、一日でも早い完成を目指して頑張っています。

通行規制が早期に解除され、地域住民や道路利用者の安全な交通の確保の一役を担えれば幸いです。

株式会社 屋部土建

代表取締役社長 津波 達也

完成したフレア護岸(佐手地区その3)



据付け状況(佐手地区その4)

会員だより



NEXT ONE!

【常務取締役
棚原 博】

「NEXT ONE」、私もよく見た無声映画のチャップリンの言葉です。アカデミー授賞式で「これまでの映画の中で一番の作品は何ですか?」と問われ「NEXT ONE」と答えたとのこと。「次こそ最高の作品」ということで、常に賞賛を称えられながら、なおかつ現状に甘んじないという高次元の話で、常に最高の作品を提供し続けたチャップリンをしてもまだまだ足りない物があると感じていたのでしょくか?。

さて、我々建設業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。反面、当然のことながらお客様の要求水準(低コスト、短工期、高品質)は高く、厳しくなっており、これに因應するためにも我々も「NEXT ONE」と言えるよう、常にレベルを上げていくのだと言う姿勢が必要ではないでしょうか。

いい仕事をし、完璧に工事を仕上げたと思っていても、反省点・改善点は必ず出てくるものです。これらをきめ細かく抽出し、次回に活かしていく、そのことがレベルアップの継続に繋がっていくのではないのでしょうか。

琉球開発 株式会社

代表取締役社長 宮城 久雄

弊社も創業55年を迎え、今後とも社業を継続発展していくためには、又、レベルを上げていくためには何が必要なのか?改善できることはないのか?等々、社長を始め、社員一人一人が、真剣に取り組み、どうしたら良いものに成るかを考えて行動し、「NEXT ONE」と言えるように頑張っていきたいと思っております。

「NEXT ONE」
を目指して
エイ、エイ、オー!



記憶の一片



一円玉の演出!

事務局長
石垣 弘規



それは、転勤により平成2年度に、名護から浦添市に在る牧港宿舎の4階に移り住んでしばらくしてから話であったと記憶している。長男小四9歳、次男小一6歳、妻は三男がお腹の中にいる身重の身体で、エレベーターもない4階への上り下りに難儀をしていた時期で、長男と次男は、近くのスーパーに買い物に行くなどよくお使いをしていた頃です。

当時は、平成元年に3%の消費税が導入され1円玉が活躍し始めた頃で、子供達の間でおまけにビックリマンのシールが付いた消費税込みで103円のお菓子がはやっていた時代でした。

それは、次男が一人でスーパーにそのお菓子を買に行った時のことです。レジでの支払時に、「1円足りないよ」と言われ、どうしようと悲しそうな顔をしていると、側に居たおばさんが、「坊や、おばちゃんが出してあげる」と言って、1円玉を払ってくれたそうです。次男が帰ってきて、私たちにその話をしたかどうかは覚えていませんが、多分「親切なおばさん」と思う程度だったのかも知れません。また、そのお方も、わずか「1円」だからと言う軽い気持ちでいたかも知れません。

後日、長男と次男の二人でスーパーに行くと、そのお方が居ることに次男が気づいて、「お兄ちゃん、あのおばちゃんがこの間一円玉をくれた人だよ。」と長男に告げたそうです。すると長男は次男を連れ

その方の所へ行き、「この間は弟がお世話に成りました。大変ありがとうございました。」と丁寧に辞儀をしてお礼をし、1円玉を返したそうです。

大抵の話はここでおしまいますが、その方がこのことに大変感激し、「素晴らしい兄弟がいる。」とPTAの役員会でお話になったことから、PTAや学校でも話が広がって行ったそうです。同じく役員をしていた宿舎の同僚の奥さんから、自分たちの子供の評判を伝え聞き、まさに喜びと誇りを感じたものでした。

今、その長男は千葉に在住、2児(1女1男)の父となり、仕事と親業に勤しんでいます。次男も東京で結婚間近。当時0.5歳の3男坊は九州で大学生活を送っています。

夫婦二人の生活となった今、秋の夜長のコーヒーを味わうとき、時折記憶の一片がよみがえり、少しセンチメンタルになる今日この頃です。

今月の主な活動予定

- ① 11月2日(金) : 第3回安全委員会
- ② 11月16日(火) : 第75回道路美化・清掃活動 後半グループ
- ③ 11月21日(水) : 第31回道路技術講習会 13:30 ~、於:浦添市結の街



AEDの贈呈(右から山城副村長、島袋村長、大濱支部長、座波企・広委員長、金城副委員長)



救急救命講習会の様子